

## 令和4年度小林古径記念美術館運営委員会次第

日時：令和5年2月21日（火）午後2時00分から

場所：小林古径記念美術館

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

- (1) 令和4年度事業の経過報告
- (2) 令和5年度以降の事業内容について
- (3) 今後の美術館事業に対する意見徴収

4 閉 会

## 小林古径記念美術館運営委員会 委員名簿

### 1 委員

選出区分	氏名	役職等
美術文化について識見を有する人	<small>たかはし のぶお</small> 高橋 信雄	小林古径保存会
	<small>かわさき ひかり</small> 川崎 日香湊	日本画家
学校教育及び社会教育に精通する人	<small>いからし しほ</small> 五十嵐 史帆	上越教育大学教授（美術教育）
	<small>おおつか あきら</small> 大塚 啓	柿崎中学校校長 上越美術教育連盟会長
公募に応じた市民	<small>のだ えみこ</small> 野田 栄美子	

### 2 任期

令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間）

# 令和4年度事業報告（1月31日現在）

## 1 企画展開催事業

### 企画展「生誕100年 富岡惣一郎展 一白、追い求めて」

#### (1) 開催の目的及び趣旨

上越市出身の油彩画家・富岡惣一郎の生誕100年を記念して、富岡芸術を紹介する。また、当館には初期から晩年に至る60点の富岡作品を所蔵しており、これらの所蔵品にトミオカホワイト美術館で所蔵している関係資料を展示することにより、市内外にその芸術性を発信する。また、市内には上越市役所をはじめとする公共建築に富岡の「空間デザイン」が残されており、この機会に作品とともに紹介する。あわせて、南魚沼市のトミオカホワイト美術館との相互連携により、当館企画展への誘導を行う。

#### (2) 企画展の概要

展覧会名：生誕100年記念 富岡惣一郎展 一白、追い求めて

会期：令和4年3月26日（土）～6月19日（日） 78日間

開催内容：当館所蔵の富岡作品を中心に初期から晩年までの画業を辿る展覧会を開催した。あわせて、上越市役所にある富岡作品を紹介した。

主な展示作品：《街》、《NY マンハッタン》、《熊野 大杉谷》、《NY 早春 梢》、《妙高山》

《花火》2点（上越市立南本町小学校蔵）

富岡惣一郎愛用画材（南魚沼市トミオカホワイト美術館蔵）ほか

その他：・所蔵作品集（A5判、カラー、80頁）を発行した。

・観桜会期間中（3月26日～4月17日）は無休、午後7時まで延長開館した。

・5月18日（水）は「国際博物館の日」を記念して入館無料とした。

・本展会期中に「南魚沼市トミオカホワイト美術館」との相互割引を実施した。割引券を発行し、券と引き換えに団体料金に減免した。

#### (3) 入館者の状況

区分	有料	無料	合計
一般	3,603人	1,397人	5,000人
幼・小・中・高	308人	469人	777人
計	3,911人	1,866人	5,777人

・有料入館率68%

・トミオカホワイト美術館との相互割引利用者：一般 29人、小・中・高生 0人

・目標入館者数：5,000人

#### (4) 展覧会関連イベント

イベント名	実施日	内容	参加者数	参加者の声
ホワイト茶席	①3月26日（土）	白をテーマにしたお茶会を美術館ボランティアの協力を得て古径邸で実施した。（抹茶と和菓子付で参加費700円）	①32人	・古径邸でお茶席を楽しめる貴重な機会が得られてよかった。白をテーマにしているのも斬新だった。 ・富岡作品のオリジナル懐紙で楽しめてよかった。
	②3月27日（日）		②12人	
	③4月2日（土）		③25人	
	④4月3日（日）		④15人	
	各回		計84人	
	10:00～16:00			

学芸員による ギャラリート ーク	①4月24日(日) ②5月15日(日) ③5月29日(日) ④6月5日(日)  各回 13:30~14:30	学芸員が展示作品や 作家等について解説 を行った。 〈主な内容〉 ・展示概要、富岡惣 一郎と作品解説、 市役所所在の富岡 作品について	①15人 ②15名 ③10名 ④15名  <u>計55人</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解説を聞きながら作品を鑑賞することで、富岡作品の魅力が深く理解できた。</li> <li>・上越市に長年住んでいるが、市役所にこんなに多くの富岡作品があることを知らなかったので勉強になった。</li> </ul>
古径邸 庭園ツアー	5月4日(水・祝) 10:00~11:00	学芸員と一緒に古径 邸庭園を散策するイ ベント。古径邸のな かも一緒に見学し、 建築の魅力について 解説を行った。	13人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築の知識がなかったので、学芸員に解説してもらえてよかった。</li> <li>・展覧会を見に来ても、庭園を散策することがなかったので、ヤマツツジがこんなに綺麗だと知らなかった。もっと宣伝したほうがいい。</li> </ul>
学芸員とめぐ る上越市役所 富岡作品ツア ー	5月17日(火) 13:20~14:30	上越市役所木田庁舎 内にある富岡作品を 学芸員と一緒にめぐ るツアーを開催した。 〈見学場所〉 上越市議会議場、議長 室、市議会応接室、4 階廊下、秘書課応接室 など	13人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会の議場や議長室、市議会応接室など、日頃一般公開されていない場所の富岡作品が見学できてよかった。</li> <li>・市役所にこんなに富岡作品があることを知らなかった。今後も定期的にも実施してほしい。</li> </ul>
飛雪忌	5月31日(火)	富岡惣一郎の命日を 偲んで、展覧会入館者 先着100名に富岡惣 一郎《妙高山》の絵は がきをプレゼントし た。	配布者 100人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上越市民なので、なじみ深い妙高山のポストカードがもらえて嬉しかった。</li> <li>・イベントを知らずにきたので、当日が富岡惣一郎の命日だと知ることができた。</li> </ul>
どようワーク ショップ 「塗って・削 って 雪の風 景を描こう」	会期中の土曜日 10:00~12:00	富岡惣一郎の作品に ちなみクレヨンで画 面を塗りつぶした後 に白い絵の具を重ね、 乾く前にヘラや爪楊 枝で削り取って雪の 風景を描くワークシ ョップを開催した。 (合計10回)	一般 23人  子ども 15人  <u>計38人</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富岡の技法を体感することができたのでよかった。ワークショップに参加してから作品を見ると、印象が変わった。</li> <li>・簡単そうで実際に体験すると難しく、富岡作品の高い技量を感じた。</li> </ul>

#### (5) 来館者からの声

- ・富岡作品を今回初めて鑑賞した。美術館で美術品を見るのは新しい感覚だった。白を基調とした作品は感慨深いものがあった。
- ・トミオカホワイト美術館にも足を運んだことがあるが、昔のことだったので新鮮な気持ちで作品を鑑賞できた。
- ・富岡惣一郎の一部作品が額にガラスの覆いがなく作品の鑑賞が近くからできて驚いた。

#### (6) 効果と課題

- ・これまで「富岡惣一郎は南魚沼市（六日町）に取られてしまった」という声をよく聞いたが、今回の企画展開催を機に上越市にも多くの作品が所蔵されていることを知っていただく機会となった。
- ・普段はなかなか見ることのできない上越市役所議場や市長応接室などに富岡がデザインしたアルミエッチングが設置されており、これらの作品をイベントで紹介することにより、油彩画だけではない富岡の「空間デザイナー」として仕事を紹介できた。
- ・今回、富岡の生誕 100 年を機会として一堂に作品を紹介できたが、これまでは紹介する機会があまりなかった。当館所蔵品の中の 60 点の富岡作品を今後どのように活用していくかの検討が必要である。

## 企画展「生誕 100 年 斎藤真一展 瞽女と郷愁、さすらい」

### (1) 開催の目的及び趣旨

上越市ゆかりの油彩画家である斎藤真一の生誕 100 年を記念して、当館コレクションを中心とした斎藤の初期から晩年に至る作品を紹介する。また、市内に所在する瞽女ミュージアム高田との相互連携により、斎藤真一の題材となった瞽女に対する関心を深めるとともに、当館企画展への誘導を行う。

### (2) 企画展の概要

展覧会名：生誕 100 年 斎藤真一展 瞽女と郷愁、さすらい

会 期：令和 4 年 7 月 2 日（土）～9 月 25 日（日） 80 日間

開催内容：当館所蔵の斎藤作品を中心に初期から晩年までの画業を紹介した。

主な展示作品：《白壁の風景》《ランプと簪》（小林古徑記念美術館蔵）、《さすらい》（個人蔵）

《瞽女唄》《あげ石瞽女・神保瞽女一覧》（小林古徑記念美術館蔵）

《チューリップの少女》（個人蔵）、《紅いヴィオロン》（個人蔵）

※上記作品のほか、斎藤真一使用の画材道具（アトリエの再現）の展示及び画像資料と映像資料を展示室内で上映した。

そ の 他：・図録（A5判、カラー、80頁）を発行した。

・観蓮会期間中の7月16日（土）～8月21日（日）は無休とした。

・本展会期中に斎藤真一の瞽女作品を展示している「瞽女ミュージアム高田」との回遊性を高めるため相互割引を実施した。割引券を発行し、券と引き換えに団体料金に減免した。

### (3) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,101人	712人	2,813人
幼・小・中・高	145人	216人	361人
計	2,246人	928人	3,174人

・有料入館率70%

・瞽女ミュージアム高田との相互割引利用者：一般 67名、小・中・高生 2名

・目標入館者数：5,000 人

### (4) 展覧会関連イベント

イベント名	実施日	内 容	参加者数	参加者の声
斎藤真一 生誕日プレゼント	7月6日(水)	入館先着 100 名に斎藤真一オリジナルグッズ（一筆箋）をプレゼントした。 協賛：ギャラリー朱雀院	計 64 人	・イベントを知らずに来館した。プレゼントが貰え、斎藤真一生誕日のことも知れたので良かった。
学芸員による ギャラリートーク	①7月24日(日) ②8月13日(土) ③9月4日(日) 各回 13:30～14:00	学芸員が展示作品や作家等について解説を行った。 〈主な内容〉 展示概要、斎藤真一の生涯や作品解説など	①12人 ②15名 ③6名 計 33 人	・解説を聞きながら作品を鑑賞することで、斎藤作品の魅力が深く理解できた。 ・瞽女以外の斎藤作品の魅力を知ることができた。

高田瞽女唄 と津軽三味線 夕幻ライブ	8月27日(土) 15:00~15:30	斎藤真一展にあわせて開催された小竹勇生山社中による高田瞽女唄と津軽三味線の演奏会を行った。 主催：上越シビックサービス／協力：エムエープランニング	計40人	・斎藤作品を鑑賞した後に瞽女唄を聴いたので、作品や瞽女に対する理解力が高まった。 ・今後もジャンルにかかわらず、コンサート等の音楽イベントを企画して欲しい。
どようワークショップ	会期中の土曜日 10:00~12:00	斎藤真一の作品の特徴を基にしたミニワークショップを開催した。 7・8月「絵のふちどりをかざろう」(合計9回) 9月「斎藤真一 4コマ物語を描こう！」(合計4回)	一般9人 子ども15人 計24人	・ワークショップを通じて作品の特徴がわかった。参加後に展示室で再度ゆっくり鑑賞したいと思った。 ・実際にワークショップで参加すると作品をもっとじっくり鑑賞したいと感じた。

#### (5) 来館者からの声

- ・ 斎藤真一の世界観に圧倒されました。独特の赤に心を揺さぶられました。瞽女について一層理解できました。もう一度来たいと思うほど、心を掴まれました。
- ・ 作品はもちろんよかったが、映像資料や日記からの文章と一緒に鑑賞できたことで、作家の考え方にも迫ることができてとても楽しかった。
- ・ 斎藤真一展を見ることが目的で高田へ来ました。大変満足しました。瞽女ミュージアムにも行ったので、あわせて見られた作品数がとても多くなりうれしいです。
- ・ 1997年の『越後瞽女日記展』にて初めて斎藤真一を知り、好きになりました。アトリエの再現に感動しました。今後もゆかりあるこの高田で斎藤真一の作品を見ることができたら嬉しいです。

#### (6) 効果と課題

- ・ 瞽女ミュージアム高田や歴史博物館展示と連携することで、他施設との回遊性を高めることができた。また、生誕100年を機に市内の画廊でも同時期に斎藤真一展が開催され、斎藤真一に対する関心を高めることができた。
- ・ 新たな試みとして映像資料や写真資料をデジタルコンテンツ化してタブレットで紹介し、会場が限られた中でも多くの情報を伝達するとともに、絵画作品をこれらの資料で補完することができた。
- ・ これまで斎藤真一の作品を紹介している頻度が多く、目新しさが感じられなかったことが一つの要因かも知れないが、入館者数が伸び悩んだ。
- ・ 今回は予算上の都合によりチラシの作成のみとなった。また、展覧会紹介やイベント等の事前告知タイミングが遅く、更新頻度も少なかったため、広報の方法には課題が残った。

## 企画展「芸能科の記憶 学び舎から飛び立った作家たち」

### (1) 開催の目的及び趣旨

かつて高田公園内に所在した新潟大学教育学部高田分校芸能学科は、美術・書道・工芸・音楽・体育の5部門が置かれた。特に芸術分野においては高度な専門家養成を目指して優れた教授陣を招いたこともあり、多くの作家を輩出し、地域の芸術活動の活性化に寄与した。

今回の展覧会では高田分校芸能科で教鞭を取った教官たちと卒業生たちの多彩な作品や関連資料を展示し、上越市の美術文化の発展を支え続ける作家たちを紹介する。

### (2) 企画展の概要

展覧会名：芸能科の記憶 学び舎から飛び立った作家たち

会期：令和4年10月8日（土）～12月18日（日） 60日間

開催内容：かつて高田にあった新潟大学教育学部高田分校芸能科で指導した教官や学び舎を飛び立った卒業生達の多彩な作品52点を展示した。また、当時の写真や資料等も紹介し、地域の芸術振興に寄与した芸能科の記憶をたどる展覧会を開催した。

主な展示作品：川合清《少女》（小林古径記念美術館蔵）、菊地美秋《草むら》（個人蔵）

宮本三郎《アトリエの裸婦》（新潟大学教育学部蔵）、小関育也《遺跡考》（個人蔵）

戸張幸男《良寛さん》（個人蔵）、野中浩俊（吟雪）《含光》（新潟大学教育学部蔵）

※上記作品のほか、音楽科に関する資料と閉校間際に撮影された映像資料を二ノ丸ホールで上映した。

その他：・図録（A5判、カラー、72頁）を発行した。

・11月11日（金）～11月20日（日）は「紅葉ライトアップ」期間中のため午後7時まで延長開館とした。

### (3) 入館者の状況

区分	有料	無料	合計
一般	1,649人	836人	2,485人
幼・小・中・高	25人	292人	317人
計	1,674人	1,128人	2,802人

・有料入館率：59.74%

・目標入館者数：5,000人

### (4) 展覧会関連イベント

イベント名	実施日	内容	参加者数	参加者の声など
宮田亮平トークライブ	10月9日（日） 14:00～15:00	非常勤講師として芸能科で指導した宮田亮平氏から、当時の思い出や日本の芸術について語っていただくトークライブを開催した。 講師：宮田亮平氏（日展理事長） 聞き手：宮崎館長	一般40人 報道3社 （新潟日報、上越タイムス、上越よみうり）	・芸能科時代の思い出や作品の話だけでなく、文化論まで通じる内容であり、満足度は高かった。 ・美術館という文化芸術の拠点に関心を持ってもらう機縁となった。



音楽科卒業生によるミニ・コンサート	①10月16日(日) 14:00~15:00 ②11月3日(木・祝) 13:00~16:00	芸能科音楽科の卒業生有志による演奏会を行った。 〈演奏者〉 10月16日:3人(声楽・ピアノ) 11月3日:6人(ピアノ、フルート、声楽)	①21人 ②60人 <u>計81人</u>	・演奏だけでなく、思い出話も交えたもので、当時のことが思い出された。 ・雰囲気がとても良かった。
作品鑑賞会	①10月8日(土) ②11月20日(日) ③12月3日(土) 各回14:00~ (約1時間)	学芸員と一緒に展示作品を鑑賞する。 展示作品だけでなく、資料を見ながら芸能科についても紹介した。	①10人 ②3名 ③2名 <u>計15人</u>	・作品をみるだけではわからなかった作品の魅力について知ることが出来た。 ・話を聞きながら、疑問に感じたことを質問出来てよかった。
美術館アートまつり	11月3日(木・祝) 13:00~15:00	出品作家や芸能科卒業生、市民有志がそれぞれの個性を生かしたミニ・ワークショップを開催した。 講師:金谷範子氏、荒川圭子氏、松尾大介氏、梅沢崇氏、上越に伝統文化を普及する会	大人:40人 子ども:31人 <u>計71人</u>	・子どもが小さかったが、親子で楽しく参加することが出来た。 ・子どもに交じって大人も楽しく参加できた。普段できない体験ができた。
紅葉ライトアップ	11月11日(金)~11月20日(日) 16:00~19:00	紅葉の時期に合わせ、美術館庭園でライトアップを実施。ライトアップ期間は、美術館も7時まで延長した。	<u>計135人</u> (1日平均15名)	・ライトアップがきっかけで来館した。 ・古径邸もあわせてライトアップを楽しんだ。
どうようワークショップ	会期中の土曜日 10:00~正午	10月・11月は紅葉の季節にちなみ「ぺたぺた、しゃかしゃか紅葉ハンカチをつくろう」(合計7回)、12月は「おめでたい絵はがきづくり」(合計3回)を開催した。	一般10人 子ども29人 <u>計39人</u>	・自分が選んだ紅葉の葉でオリジナルハンカチが作れてうれしかった。 ・絵はがきづくりは昨年も参加したが、今年も金箔が体験できて面白かった。

## (5) 来館者からの声

- ・知人から聞いていた芸能科のことを作品や資料から知ることが出来てよかった。
- ・真剣に学ぶ学生たちの成果をみられてよかった。日本画の美しさに感動しました。
- ・当時のことが思い出されて、とても懐かしく感じました。
- ・芸能科の様子がわかる映像もあり、大満足でした。恩師や先輩の姿を映像で見ることが出来て嬉しかった。

## (6) 効果と課題

- ・「高田分校芸能科」を取り上げた美術館での展覧会は初めての試みであり、県内外から 52 名の作家作品を展示した。また、関連資料や映像を通して、大学や美術教育の歴史、地域との関わりについて紹介することができた。
- ・閉校から 40 年が経過し、当時を知る人への聞き取り調査や資料収集を経て、芸能科（高田分校）と地域の関わりについて一冊の図録にまとめられたことは意義があった。また、調査を進める中で多くの資料が集まったことも効果があった。
- ・本展覧会は「芸能科を知っている人」の記憶を拾い上げ、語りなおす機会とするとともに、芸能科を知らない人たちにも芸能科の存在を伝えることを趣旨として開催した。高田分校卒業生をはじめとした高田分校を知る人達が県内外から訪れ、当時を懐かしみ、また再会する場所となった一方で「芸能科を知らなかった人」への広報やアプローチが不足していた。
- ・関連資料や映像を多く展示し「芸能科があった」というこの地域ならではの歴史と文化を振り返ることができた一方で、著名な展示作品は無く、初めて取り上げる作家や作品が多かったため、新聞紙上での連載を行ったものの展示作品自体の魅力が伝わりにくかった。

## 企画展「かわいい美術」(開催中)

### (1) 開催趣旨

当館所蔵作品を活用し、「かわいい」という視点で作品をセレクトし紹介する。「かわいい」という言葉は本来「不憫だ」「気の毒だ」という意味を持った言葉が転じて「愛らしい」となった。これらのさまざまな意味を持つ「かわいい」美術作品を紹介する。

また、今回は新たな試みとして「高校生キュレータープロジェクト」を開催し、企画・準備、作品選定や展示構成、解説執筆やギャラリートークなどを行うことを通じて若年層の美術館利用促進を図る。

### (2) 企画展の概要

展覧会名：コレクション展「かわいい美術」

会期：令和5年1月4日(水)～3月12日(日) 57日間(予定)

開催内容：当館所蔵品の中から「かわいい」をテーマとした作品(日本画・油彩画・彫刻・工芸・写真)作品46点を展示した。

主な展示作品：小林古径《りす》、土田麦僊《嬉雀》、加山又造《蝶(ペルシャ猫)》、鳥海青児《埴輪》、マリー・ローランサン《花束》、岩野勇三《ゆきずり》、渡辺利雄《毛繕いする猫》、北大路魯山人《雪笹小皿》、エミール・ガレ《エナメル野草文コップとカラフセット》、濱谷浩《雪国》

その他：・冬期間のため、開館時間は午前10時から午後4時までとした。

・2月11日(土)はキャンドルナイトのため午後7時まで開館した。

・上越市内小・中・高校生および上越市在住の18歳以下の方は無料とした。

### (3) 関連イベント

イベント名	実施日	内容	参加者数	参加者の声
高校生によるリレートーク	1月28日(土) 13:30～14:30	高校生がリレー形式で1人1点ずつ作品解説を行った。	35人	高校生の言葉選びが新鮮だった。来年も再度実施してもらいたい。
トーク・フリーデー	①1月15日(日) ②3月12日(日) 10:00～16:00	来館者が感想などを話しながら作品鑑賞できる機会を設けた。 11:00と14:00は学芸員も参加した。	①7人	平日のよちよちタイムに美術館を利用できないのでこのようなイベントがあると子どもと来館しやすい。
古径生誕140年キャンドルナイト	2月11日(土・祝) 16:00～19:00 (開館は10:00)	庭園内に雪あんどんを作り、明かりを灯した。画室でオリジナル和菓子と抹茶を提供した。当日は入館無料とした。	864人	雪あんどんの明かりと古径邸の和のイメージがとてもマッチしており、幻想的な雰囲気がとても美しかった。
どようワークショップ	会期中の土曜日 10:00～12:00	1月「墨流しでしおり作り」(合計4回) 2・3月「マーブル模様のキャンドル作り」(合計5回)	開催中	「墨流し」は家ではなかなかできない体験なので美術館で体験できて良かった。

## 【高校生キュレータープロジェクト】（開催中）

### (1) 開催趣旨

若年層の美術館利用が少ないことから、新たな試みとして高校生を対象に美術館での活動経験の場を提供し、美術館利用層の拡大につなげる。また、活動を通じて美術への関心や地域における美術館の役割、自分らしい生き方、さらには社会参加への意欲を育む。

### (2) 活動期間：令和4年8月～令和5年3月

### (3) 対象：上越地域の高校に通う高校生10名（参加にあたっては保護者の同意が必要）

※活動期間はボランティア保険に加入

### (4) 活動内容

回	活動日・場所	時間	テーマ	活動内容
1	8月3日（水） 二ノ丸ホール 展示室等	10:00 ～15:00	美術館を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要説明と施設見学</li> <li>学芸員とのトーク</li> <li>鑑賞ワークショップ</li> </ul>
2	9月19日（月・祝） 二ノ丸ホール	10:00 ～15:00	「みること」と「描くこと」を体験しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物デッサン体験</li> <li>アートカードワークショップ</li> <li>展示テーマ企画</li> </ul>
3	10月16日（日） 画室・収蔵庫	10:00 ～15:00	作品と出会う	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品選定</li> <li>展示プラン作成</li> </ul>
4	11月12日（土） 画室	10:00 ～15:00	どう見せるかを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示プラン作成</li> <li>図面上で作品配置</li> </ul>
5	12月4日（日） 二ノ丸ホール	10:00 ～15:00	解説文を書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>解説文作成</li> </ul>
6	12月26日（月） 展示室	10:00 ～15:00	展示に挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示作業</li> <li>解説文作成</li> </ul>
7	1月28日（土） 展示室・画室	10:00 ～15:00	思いを伝えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生によるリレートーク</li> </ul>
8	3月11日（土） 二ノ丸ホール	13:00 ～15:00	修了式	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動まとめ</li> <li>修了証授与</li> </ul>

### (5) 参加者（学年順）

学年	学校名	参加人数
3年生	上越総合技術高校	4人
2年生	高田北城高校	1人
	直江津中等教育学校（後期2年）	1人
	つくば開成高等学校	1人
	第一学院高等学校高田キャンパス	1人
1年生	高田高校	2人

（参考）男女比 男性1：女性9

## 企画展「あつめてのこす、ひろくつたえる～新収蔵品から」(準備中)

### (1) 開催趣旨

美術館は展覧会を開催するためだけにあるのではなく、「作品を収集する」「作品を保存する」「公開し、広く伝える」という大切な役割があり、美術作品を収集し、大切に保存し、展覧会やイベントなどを通して広く伝えていくという3つの役割がうまく機能していくことで、美術館の魅力を高めることができる。

令和2年のオープン以来、令和4年度までに新しく収蔵した作品の中から45点を紹介するとともに、当館のコレクションの成り立ちや「あつめてのこす、ひろくつたえる」活動も紹介する。

### (2) 企画展の概要

展覧会名：あつめてのこす、ひろくつたえる～新収蔵品から

会 期：令和5年3月25日(土)～7月2日(日) 89日間(予定)

開催内容：令和2年のオープン以来、令和4年度までに新しく収蔵した112点の作品の中から45点を展示する。

主な展示作品：小林古径《梅にうぐいす》《重盛》、安田靉彦《紅花青花》(寄託)、奥村土牛《牡丹》(寄託)、梶田半古《春江》、モーリス・ユトリロ《教会の風景》(寄託)、岩野勇三《なかま》、高井進《葡萄文大壺》

そ の 他：・観桜会期間中の4月1日から12日までは無休、午後7時まで延長開館する。  
・5月21日(日)は「国際博物館の日」を記念して入館無料とする。

### (3) 関連イベント(予定)

イベント名	実施日	内 容	対象	備考
古径生誕140年記念茶会	4月1日(土) 4月2日(日) 4月8日(土) 4月9日(日) 10:00～15:00	古径生誕140年を記念してボランティアによる茶席を古径邸本邸で開催する。	どなたでも	参加費500円 要入館料
作品トーク&鑑賞会「この作品、どうしてここにあるの？」	4月15日(土) 5月13日(土) 6月18日(日) 14:00～15:00	「ここにある作品はなぜ美術館にあるの？」など、作品収集の経緯などの話をしながら鑑賞する。	どなたでも	要入館料
古径邸・庭園見どころガイドツアー	5月4日(木・祝) 14:00～15:00	学芸員と一緒に古径邸庭園を散策するイベント。国登録有形文化財である小林古径邸の建築の見どころを学芸員が解説する。	どなたでも	要入館料
彫刻びかぴか大作戦	5月14日(日) 9:30～10:30	高田城址公園内のブロンズ彫刻作品を清掃し、ワックスを塗ることによって作品保存活動を体験する。	どなたでも	

ワークショップ 「くらべて みよう 日本 画と油絵」	5月27日(土) 6月3日(土) 13:30~15:30	油絵キットを使って実際に油 絵の具を塗り、その質感を楽し む。	どなたでも (各日10人 程度)	参加費 500円 要入館料
スペシャル☆ よちよちタイ ム	5月23日(火) 10:00~正午	毎週火曜日に実施している「よ ちよちタイム」のスペシャル版 として、絵本の読み聞かせ、親 子鑑賞ツアー、お絵描きを行 う。 (協力: 高田図書館)	0歳から年長 までの子ど もと保護者 10組(事前 申込み制、 先着順)	

## 2 教育普及事業

### (1) 美術館主催・共催イベント・サービス

イベント名	開催日	会場	内容	参加者数
どようワークショップ	会期中の土曜日 10:00～12:00  全 42 回実施	二ノ丸 ホール	子どもから大人まで気軽に楽しめるワークショップを土曜日午前中に開催。展示作品や季節に合わせ内容を変え、美術館に親しみを感じてもらおう契機とした。	大人：69 人 こども：99 人 計：168 人 (37 回/42 回)  ※1 月 31 日現在
よちよちタイム	開館中の火曜日 9：00～12:00 (12 月～3 月は 10:00～12:00  全 39 回実施	二ノ丸 ホール	未就学児の保護者が気兼ねなく美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者 1 名無料とした。ホール内に自由に遊べるおもちゃや絵本を用意した。	保護者：112 人 乳幼児：123 人 計：235 人 (33/39 回)  ※1 月 31 日現在
彫刻ぴかぴか★大作戦	6 月 19 日 (日) 9:00～10:30	高田城 址公園 内	高田城址公園内のブロンズ彫刻作品を清掃し、ワックスを塗って仕上げた。なじみのないブロンズ彫刻に触れ、関心を持ってもらう契機とした。	一般 3 人 中学生 1 人 計 4 人
ベビマ&フォト in 美術館	①5 月 31 日 (火) ②7 月 12 日 (火) ③11 月 1 日 (火)	画室 庭園	ベビーマッサージで親子の触れ合いを楽しみ、庭園で親子の写真を撮影。美術館の作品鑑賞やお絵描きなども楽しんだ。	①6 組 ②6 組 ③5 組 計 17 組
こどものための美術館ガイド「きつず★アートチャレンジ」	-	美術館 内	小林古径のこと、美術館に展示している作品のこと、日本画の絵の具に関する問題を解き、美術館に親しみを持ってもらうための子ども向けの取り組み。	161 人  ※1 月 31 日現在
スマートフォン向けアプリ「ポケット学芸員」	-	-	展示作品画像や解説を、どこでも自分のスマホから楽しむことができるアプリ。 展示室にある解説文や作品画像を拡大して表示することができ、展覧会によっては翻訳した作品解説を英文で楽しむことができる。	-

## 【イベントについての総括】

- ・ どのようなワークショップは気軽に参加できるワークショップとして開催しており、大人の参加率が約4割あった。一方で1回あたりの参加者数が伸び悩んでいる（1回あたり4.5人）。子どもを参加させるための保護者が入館料を払わないといけないことなどが要因ではないかと考えられる（同伴保護者が無料になる学び愛フェスタの日は、参加人数が10人を超える）ことから、開催方法等の見直しを図る必要がある。
- ・ よちよちタイムは前年より保護者の利用が24人増えている。よちよちタイムで美術館に魅力を感じた保護者らが「ベビマ&フォト」イベントを企画するなど、広がりが見られた。
- ・ 彫刻清掃イベントは、前年の岩野勇三展で関連イベントとして実施。今回は単発イベントとして実施したが、参加人数が定員15人に満たなかった。今後継続に向けて告知方法を検討する必要がある。
- ・ アートチャレンジ参加者は減っているが、すでに「やったことがある」子どもたちのために、第2弾の作成を計画中である。
- ・ アプリ「ポケット学芸員」はアプリのダウンロードが想定以上に少なく利用者数が少ない。音声での解説など、アプリ用の特別なコンテンツの充実が課題である。

## (2) 出張講座

内容	No.	団体名	人数	実施期日	備考
日本画体験	1	上越教育大学附属小学校6年生	36人	4月22日	来館・体験
	2	高田特別支援学校中学部	6人	5月13日	
	3	上越特別支援学校高等部	4人	5月23日	
	4	美守小学校6年生	22人	7月8日	
	5	八千浦地区公民館	8人	8月26日	
	6	上越市立柿崎中学校美術部	16人	7月27日	来館・体験
絵の具作り	7	上越教育大学附属小学校6年生	36人	7月14日	
合計			128人		

## 【出張講座の総括】

- ・ 前年度と同数の7件の出前講座を行った。うち2件は美術館来館時に実施し、展示室での作品鑑賞と日本画絵の具彩色体験をあわせて実施した。
- ・ 上記以外にも問い合わせが複数あったが、100人を超えるPTA（PTC）活動など、現状の体制では対応できないような問い合わせも増加している。

## (3) 画材貸出

### ◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット（木箱入り）	岩絵具原石7種、筆原材料5種、紙原材料4種、岩絵具6種、墨、硯、金泥、金箔、銀箔、膠、筆、和紙、絹、ルーペ
使用キット	岩絵具セット2箱、水干絵具セット2箱、胡粉、顔彩セット2箱、墨、硯、筆、金箔、銀箔、箔切、箔はさみ、箔切台、砂子筒4本、砂子巻棒、絵皿、乳鉢・棒、筆洗い、膠鍋、匙、電熱器、膠、新鳥の子紙
日本画制作過程見本	写生から小下図、下図写しを経て骨描き、彩色、仕上げに至るまでの過程（8工程）を見本（F6サイズボード）で示す。
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一回につき約5点までとする。



## 貸し出し状況

No.	団体・学校名	期 日	内 容
1	洞谷亜里佐氏 (上越教育大学教授)	4月20日(水) ～4月22日(金)	大学の講義で使用するため、日本画キット貸出
2		4月28日(木) ～5月11日(水)	
3		6月16日(木) ～7月7日(木)	
4		10月4日(火) ～10月12日(水)	
5	上越教育大学附属小学校6年2組	4月25日(月) ～5月13日(金)	日本画を体験するため、使用キット貸出

## (4) 団体見学

No.	団体・学校名	期 日	人数	備考
1	フリーウェイツアー	4月1日(金)	14人	
2	コンベンションツアー	4月3日(日)	14人	
3	えちごトキめき鉄道「プレミアムツアー」	4月4日(月)	14人	
4	上越高校	4月4日(月)	4人	
5	トラマスツアー	4月5日(火)	35人	
6	コンベンションツアー	4月6日(水)	16人	
7	トラマスツアー	4月7日(木)	21人	
8	コンベンションツアー	4月8日(金)	15人	
9	コンベンションツアー	4月9日(土)	14人	
10	コンベンションツアー	4月10日(日)	16人	
11	ギャラリー祥 ソロプチミスト	4月11日(月)	10人	
12	上越教育大学附属小学校6年生	4月22日(金)	34人	日本画の鑑賞と体験
13	上越教育大学(洞谷・松尾先生)	4月22日(金)	4名	
14	高田商業高校	5月2日(月)	68人	
15	上越テクノスクール木造建築科	5月18日(水)	14人	古径邸見学
16	高田高校	5月24日(火)	52人	
17	マルケーグリーンツアー(富寿司で寿し三味と小林古径記念美術館「富岡惣一郎展」)	5月26日(木)	38人	
18	ロータリークラブ	5月26日(木)	24人	
19	北陸地方整備局	5月26日(木)	6人	
20	高田高校	5月26日(木)	17人	
21	春日中学校	5月27日(金)	35人	
22	マルケーグリーンツアー(富寿司で寿し三味と小林古径記念美術館「富岡惣一郎展」)	5月27日(金)	39人	
23	高田高校	5月27日(金)	23人	
24	マルケーグリーンツアー(富寿司で寿し三味と小林古径記念美術館「富岡惣一郎展」)	5月31日(火)	44人	
25	高田高校	6月1日(水)	30人	

26	見附市文学散歩	6月3日(金)	17人	
27	春日山ロータリークラブ	6月4日(土)	58人	
28	上越教育大学附属中学校	6月7日(火)	108人	
29	上越総合技術高校	6月14日(火)	53人	
30	上越総合技術高校	6月15日(水)	32人	
31	大町小学校	6月16日(木)	38人	
32	上越教育大学五十嵐研究室	6月17日(金)	7人	
33	与板コミュニティプラザ	7月2日(土)	23人	
34	頸城地区公民館	7月13日(水)	23人	
35	上越総合技術高校	7月20日(水)	21人	
36	春日山ロータリークラブ	7月21日(木)	22人	
37	高田商業高校	7月23日(土)	23人	
38	柿崎中学校 美術部	7月27日(水)	16人	日本画の鑑賞と体験
39	観光ボランティアツアー	8月1日(月)	12人	
40	上越総合技術高校	9月15日(木)	33人	
41	森宮観光 だるま会	9月17日(土)	15人	
42	上越総合技術高校	9月21日(水)	32人	
43	直江津金葉会	10月15日(土)	23人	
44	上教大松尾先生	10月18日(火)	3人	
45	長野市芹田公民館	10月18日(火)	18人	
46	三和商工会建築部会	10月21日(金)	12人	
47	自治大学OB	10月22日(土)	14人	
48	頸城地区公民館	10月23日(日)	19人	
49	クラブツーリズム	11月3日(木)	6人	
50	三和商工会女性部	11月8日(火)	8人	
51	ナイトツアー	11月18日(金)	22人	
52	天使幼稚園	11月18日(金)	7人	
53	上越親子劇場	11月29日(火)	16人	
54	上教大附属小学校6年生	12月7日(水)	37人	茶道体験・展覧会鑑賞
55	三郷小学校	12月13日(火)	14人	
56	ハミングツアー	2月18日(土)	15人	※予定
57	糸魚川能生地区公民館	3月1日(水)	27人	※予定
58	妙高市立新井中央小学校	3月10日(金)	37人	※予定

※合計 58 件、うち学校団体 19 件(小学校 5 件、中学校 3 件、高校 11 件)

#### 【団体受け入れ総括】

- ・前年度より 12 件受付数が増加した。富岡惣一郎展会期中の団体動員数が最も多かった。
- ・高校の団体見学の件数が 11 件と、前回の 7 件に比べ伸びている。
- ・20 人以上の団体は学校団体以外だと 12 件であり、コロナ禍において旅行社等も集客に苦慮していることが考えられる。

(5) 博物館実習の受け入れ（上越市立歴史博物館との共同事業）

実習日：令和4年8月2日（火）～8月6日（土）5日間

実習者：1人（中央大学文学部人文社会学科3年）

(6) 広報活動等

①上越市有線放送協会

No.	内 容	放送日	担当
1	富岡惣一郎展作品紹介とイベント告知	4月7日（木）	小川陽子
2	国際博物館の日無料入館、古径邸庭園の魅力案内	5月5日（木）	小川陽子
3	斎藤真一展について	6月2日（木）	笹川修一
4	斎藤真一展作品紹介とイベント告知	7月7日（木）	笹川修一
5	斎藤真一と高田瞽女	8月4日（木）	笹川修一
6	高田分校芸能科について	9月1日（木）	伊藤舞実
7	芸能科の記憶展作品紹介とイベント告知	10月6日（木）	伊藤舞実
8	文化の日と文化勲章と小林古径、庭園の紅葉情報	11月3日（木）	笹川修一
9	かわいい美術展について	12月1日（木）	市川高子
10	かわいい美術展作品紹介とイベント告知	1月5日（木）	市川高子
11	古径生誕140年とキャンドルナイト	2月2日（木）	小川陽子
12	次年度企画展ラインナップ（新収蔵品展ほか）	3月2日（木） （予定）	市川高子

②FMじょうえつ

No.	内 容	放送日	担 当
1	上越市広報Jステーション「富岡惣一郎展」	4月25日（月）	市川高子

③ホームページアクセス数（サイト内の全てのページの閲覧数）

月	ページビュー数
4月	5,330回
5月	5,695回
6月	5,835回
7月	5,806回
8月	4,596回
9月	4,431回
10月	5,663回
11月	4,365回
12月	2,862回
1月	集計中

④SNS (Facebook) 投稿数とフォロワー数

月	投稿件数	一番反応のあった投稿 (閲覧数)
4月	11件	古径忌紹介 (146)
5月	3件	古径邸・庭園ツアー開催報告 (145)
6月	5件	警女ミュージアムとの相互割引 (268)
7月	7件	斎藤真一展が開幕 (298)
8月	3件	高校生キュレータープロジェクト、スタート! (310)
9月	4件	芸能科展のおしらせ (425)
10月	5件	芸能科展開幕 (275)
11月	7件	庭園ライトアップ&延長開館 (473)
12月	6件	かわいい美術展のおしらせ (409)
1月	7件	トーク・フリーデー開催 (195)

※現在のフォロワー数：201人（令和3年度末時点：164人）

⑤取材協力

新潟日報社朝刊「小林古径生誕140年「描線」の軌跡」（全7回）

掲載期間：1月6日（金）及び令和5年1月25日（水）～2月8日（水）

### 3 調査研究事業等

#### (1) 講演会講師

No.	団体名	日時	内容	講師	参加者数
1	小林古径記念美術館 友の会	5月28日(土) 14:00~15:00	富岡惣一郎展について	小川陽子	30人
2	小林古径記念美術館 友の会	11月26日(土) 14:00~15:00	芸能科展について	伊藤舞実	21人

#### (2) 依頼原稿執筆

No.	団体名・書籍名等	掲載日	内容
1	上越タイムス紙上連載 「白、追い求めて」	①5月21日(土) ②5月24日(火) ③5月25日(水) ④5月27日(金) ⑤6月3日(金)	「富岡惣一郎展」作品紹介(全5回) 執筆者 ①③⑤小川陽子 ②④市川高子
2	新潟日報紙上記事 展覧会へようこそ 「生誕100年斎藤真一展」	7月23日(土)	笹川修一
3	上越タイムス紙上連載 「瞽女と郷愁、さすらい」	①8月6日(土) ②8月7日(日) ③8月10日(水) ④8月11日(木) ⑤8月12日(金) ⑥8月13日(土)	「斎藤真一展」作品紹介(全6回) 執筆者 ①③⑥笹川修一 ②④⑤小川陽子
4	上越タイムス紙上連載 「芸能科の記憶」	①12月2日(金) ②12月3日(土) ③12月6日(火) ④12月7日(水)	「芸能科展」作品紹介(全4回) 執筆者 ①③伊藤舞実 ②市川高子 ④宮崎俊英
5	『高田で作画を貫いた男 原本賢治 遺作集』 (発行:六人の会)	11月19日発行	笹川修一「原本賢治と東光会」 (編集協力:小林古径記念美術館)

#### (3) 展覧会図録作成

No.	書籍名等	発行日	編集担当	執筆内容
1	『芸能科の記憶 学び舎から 飛び立った作家たち』 (発行:小林古径記念美術 館)	令和4年 10月発行	伊藤舞実 市川高子 宮崎俊英	伊藤舞実「高田分校芸能科について」「各章 扉解説」「作家略歴」(洋画・書道) 「教育学部芸能学科 年表」 市川高子「作家略歴」(日本画・工芸・彫塑) 宮崎俊英「高田分校芸能科が残したもの」

## (4) 展覧会調査及び作家作品調査

No.	内容	調査日	担当	場 所
1	小林充也作品調査	4月20日(水)	伊藤舞実	作家宅(市内)
2	東條麗子作品調査	4月20日(水)	伊藤舞実	作家宅(妙高市)
3	池上秀敏作品調査	4月20日(水)	伊藤舞実	作家宅(妙高市)
4	矢野利隆作品調査	4月22日(金)	伊藤舞実	作家宅(松戸市)
5	金子仁三郎作品調査	4月22日(金)	伊藤舞実	作家宅(浦和市)
6	飯田春行作品調査	4月28日(木)	市川高子	作家宅(市内)
7	吉田六嶺作品調査	4月28日(木)	伊藤舞実	所蔵先(市内)
8	斎藤真一展調査	4月28日(木)	笹川修一	ギャラリー朱雀院(東京)
9	小林五空作家・作品調査	5月2日(月)	伊藤舞実	作家宅(上越市)
10	堀川紀夫作品調査	5月11日(水)	伊藤舞実	作家宅(市内)
11	市橋哲夫作品調査 加藤僖一作品調査 新潟大学旭町学術資料展示館	5月12日(木)	市川高子 伊藤舞実	作家宅ほか(新潟市)
12	長谷部昇作品調査 飯田春行作品調査	5月16日(月)	伊藤舞実	作家宅(新潟市、新発田市)
13	金谷範子作品調査	5月19日(木)	伊藤舞実	作家宅(市内)
14	近藤フヂエ 芸能科聞取り調査 渡辺富栄作品調査 本間公司作品調査	5月20日(金)	市川高子 伊藤舞実	作家宅(新潟市)
15	古川芳幸作品調査	5月27日(金)	伊藤舞実	ギャラリー祥(市内)
16	堀田正作品調査	6月3日(金)	市川高子	作家宅(見附市)
17	古川芳幸作品調査	6月8日(水)	宮崎俊英 伊藤舞実	所蔵先(市内)
18	春日山神社作品調査 (菅井蘭亭作品ほか)	6月9日(木)	宮崎俊英 笹川修一	春日山神社(市内)
19	横尾茂作品調査	6月9日(木)	市川高子	所蔵者宅(市内)
20	芸能科展資料調査	6月15日(水)	宮崎俊英 市川高子 伊藤舞実	旧高田地区公民館 (市内)
21	新保順司作家調査	6月28日(火)	市川高子	作家宅(市内)
22	芸能科展調査	7月12日(火)	伊藤舞実	小熊写真館(市内)
23	吉田玉潤作品調査	12月13日(火)	笹川修一 市川高子	所蔵先(柏崎市)
24	山田春美作品調査	12月14日(水)	宮崎俊英 市川高子	作家宅(妙高市)
25	小林古径作品調査	12月26日(月)	笹川修一 伊藤舞実	所蔵先(新潟市)
26	小林古径作品調査	1月19日(木)	笹川修一	所蔵先(東京都)
27	柴田長俊展調査	1月19日(木)	笹川修一	所蔵先(東京都)

(5) 研究会・研修等

No.	研修名	日 時	担当	会場
1	新潟県博物館協議会総会・研究発表会	4月25日(月)	宮崎俊英	新潟日航ホテル
2	第2回(第71回)一般社団法人全国美術館会議社員総会	6月2日(木)、3日(金)	笹川修一 小川陽子	ベルクラシック甲府 (山梨県甲府市)
3	令和4年度国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会	6月16日(木) 13:15~17:05	笹川修一	オンライン
4	全国美術館会議小規模館研究部会第53回研修会・会合	9月13日(火)、14日(水)	宮崎俊英 笹川修一	市立小樽美術館 (北海道小樽市)
5	博物館法改正に伴う新登録制度に係る説明会(文化庁・日本博物館協会主催)	令和5年2月1日(水) 13:30~16:30	笹川修一	オンライン
6	全国美術館会議第37回学芸員等研修会「美術館の防災対策について」(予定)	令和5年3月20日(月) 10:00~17:30	笹川修一	オンライン
7	新潟県博物館協議会理事会(予定)	令和5年3月中旬	宮崎俊英	新潟市内

【調査研究事業の総括】

- ・令和4年度は企画展「芸能科の記憶展」に係る作家調査・作品調査を中心に行った。この企画展の開催については、上越市ゆかりの作家や作品の調査としても非常に意義のある調査であり、今回の調査に伴い集積された資料は美術館として価値の高いものとなった。
- ・小林古径については資料の整理・調査を継続的に行っており、今後も「小林古径と上越市ゆかりの作家の作品」の両面を調査研究の主軸としていく。
- ・美術館事業として企画展の開催、教育活動、作品収集・保管等のほか調査研究事業も重要な事業であるため、これらの必要不可欠な業務をバランスよく実施していく必要がある。

#### 4 作品収集・保管・管理事業

##### (1) 作品・資料の収集（令和4年度収集予定作品）

①購入予定作品：該当なし

##### ②寄贈予定作品

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質・技法	員数
1	日本画	小林 古径	重盛	1911年頃	絹・彩色	1幅
2	日本画	小林 古径	梅にうぐいす	1947年	紙・彩色	1幅
3	日本画	梶田 半古	静御前	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
4	日本画	梶田 半古	寿老蓬萊山図	明治末～大正初	絹・彩色	3幅対
5	日本画	梶田 半古	寒山拾得	1907年頃	絹・彩色	1幅
6	日本画	梶田 半古	観音大士図	1909年	絹・彩色	1幅
7	日本画	梶田 半古	唐美人之図	明治末～大正初	絹・彩色	1幅
8	日本画	吉田 玉潤	童子図屏風（仮題）	不明	紙・金地彩色	2曲 1 双屏風
9	油彩画	矢野 利隆	人穴 ナニモナイウ チガワ	2021年	カンヴァス・油彩	1面
10	油彩画	金子 仁三郎	独奏	1975年	カンヴァス・油彩	1面
11	油彩画	金子 仁三郎	なかよし	1946年	カンヴァス・油彩	1面
12	油彩画	山田 春美	あけがた・ゆふぐれ	1987年	カンヴァス・油彩	2面
13	版画	山田 春美	うわさ	不明	紙・リトグラフ	1枚
14	版画	山田 春美	無題	不明	紙・リトグラフ	1枚
15	彫刻	岩野 勇三	りさ	1982年	ブロンズ・鋳造	1点
16	彫刻	岩野 勇三	なかま	1986年	ブロンズ・鋳造	1点
17	油彩画	岩野 勇三	高田の風景	1950年	カンヴァス・油彩	1面
18	工芸	高井 進	るり油滴大壺	2001年	磁器	1口
19	工芸	高井 進	黄磁長頸壺	不明	磁器	1口
20	工芸	高井 進	青磁彩泥壺	1998年	磁器	1口
21	書	石橋 犀水	般若心経	1975年	紙・墨	1幅
22	書	竹内 臨川	無量寿	不明	紙・墨	1幅
23	書	加藤 僖一	良寛和尚和歌一首	1981年	紙・墨	1幅

③寄託予定作品：該当なし

##### ④所管替え予定作品（春日新田小学校から所管替え）

No.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	員数
1	油彩画	玉井 力三	三笠艦橋の図（模写）	1929	カンヴァス・油彩	1面

以上 24 件

（内訳）日本画 8 件、油彩画 6 件、版画 2 件、彫刻 2 件、工芸 3 件、書 3 件

※令和 5 年 2 月 24 日に上越市美術資料収集委員会を開催予定



## (2) 展示・保存環境調査

美術館内の展示保存環境が美術作品の展示に対して適正であるかを確認するため、下記のとおり気中濃度測定を実施した。

測定項目：アンモニア、ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

測定箇所：古径記念室・古径記念室展示ケース、企画展示室、企画展示室展示ケース、一時保管庫内  
期 日：9月28日（水）

実施機関：一般財団法人上越環境科学センター

## (3) 作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
貸与先：上越市立歴史博物館			
「常設展 第一期」 会期：3月10日（木） ～6月19日（日）	斎藤真一	《陽『越後瞽女日記』（銅版画）》 《灯『越後瞽女日記』（銅版画）》 《星『越後瞽女日記』（銅版画）》	3月9日（水） ～6月20日（月）
「常設展 第二期」 会期：6月21日（火） ～9月11日（日）	斎藤真一	《待合所にて「瞽女」『越後瞽女日記』》 《赤倉瞽女『越後瞽女日記』》 《おつねの死『越後瞽女日記』》 《三人の瞽女 冬の旅支度『越後瞽女日記』》	6月20日（月） ～9月11日（日）
「常設展 第三期」 会期：9月13日（火） ～12月11日（日）	斎藤真一	《杉本瞽女 しま》 《雨の日『越後瞽女日記』》 《みさお瞽女の祈り『越後瞽女日記』》 《赤いとんぼ玉簪 母の片見『越後瞽女日記』》	9月11日（日） ～12月13日（火）
「常設展 第四期」 会期：12月14日（水） ～令和5年3月12日（日）	斎藤真一	《三人瞽女『越後瞽女日記』》 《明星 妙高谷『越後瞽女日記』》 《杉本キクイ談記『越後瞽女日記』》 《立春・初夏・晩秋・冬『越後瞽女日記』》	12月13日（火） ～令和5年3月13日（月）
貸与先：特定非営利活動法人高田瞽女の文化を保存・発信する会（会場：瞽女ミュージアム高田）			
「斎藤真一生誕100年企画展」 会期：7月2日（土） ～9月25日（日）	斎藤真一	《お春の愁い『お春瞽女物語り』》 《瞽女『越後瞽女日記』》	6月27日（月） ～7月22日（金）

### 【作品収集・保管・管理業務の総括】

- ・作品収集に関しては、平成25年度の小林古径作品及び資料の購入を最後に購入予算は計上できておらず、作品の寄贈を受け入れるのみであったが、小林古径及び上越市ゆかりの作家の作品を中心に収集することができた。
- ・保管管理業務については、作品を適切に管理することができた。今後も定期的な目視点検や清掃等を徹底し、市の文化的財産である美術作品を適正に管理するとともに、活用を図っていく。

令和4年度 小林古径記念美術館企画展別入館状況

令和5年1月31日現在

企画展名	会期	開催日数	一般		幼小中高		計	日平均	目標入館者数	目標達成率
			有料	無料	有料	無料				
生誕100年 富岡惣一郎展	4/1～6/19 (会期は3/26から)	71日	3,396人	1,303人	303人	454人	5,456人	76.8人	5,000人	109.1%
生誕100年 斎藤真一展	7/2～9/25	80日	2,101人	712人	145人	216人	3,174人	39.7人	5,000人	63.5%
芸能科の記憶展	10/8～12/18	60日	1,649人	836人	25人	292人	2,802人	46.7人	5,000人	56.0%
コレクション展 かわいい美術	1/4～3/12	57日	227人	138人	4人	69人	438人	7.7人	2,000人	
あつめてのこす、ひろく つたえる～新収蔵品展	3/25～3/31 (会期は7/2まで)	6日	0人	0人	0人	0人	0人	0.0人	0人	
合計		274日	7,373人	2,989人	477人	1,031人	11,870人	43.3人	17,000人	
			10,362人		1,508人					

有料計	7,850人
無料計	4,020人

有料率 66.1%

※「かわいい美術」会期中は高校生を無料とした

令和5年度展覧会内容一覧

展覧会名	企画展① あつめてのこす、ひろくつたえる～新収蔵品から	企画展② 生誕110年 齋藤三郎展	企画展③ 生誕140年 小林古径展	企画展④ 生誕140年記念 小林古径素描展「美のかたちを求めて」	R6年度 企画展 柴田長俊展
会期	令和5年3月25日(土)～7月2日(日)	令和5年7月15日(土)～10月9日(月・祝)	令和5年10月21日(土)～11月19日(日)	令和5年12月2日(土)～令和6(2024)年3月10日(日)	令和6年3月23日(土)～6月中旬
日数	89日間 (観覧会・ゴールデンウィーク期間中は無休)	79日間	30日間	81日間	約80日間 (令和5年度…9日間、令和6年度…約70日間)
内容	令和2年の開館以来、当館には多くの方々から美術作品の寄贈・寄託をいただいています。本展では、新収蔵の作品から、絵画や彫刻、工芸、西洋絵画まで、バラエティに富んだ新コレクションを一堂に展示します。	生誕110年を記念して、上越市ゆかりの陶芸家・齋藤三郎の芸術を回顧する展覧会を開催します。 齋藤は三郎は2人の人間国宝、近藤悠三と富本憲吉に陶芸を学びました。戦後、高田に窯を築いた齋藤は、中央での公募展には出品せず、自分の作品を愛してくれる人に向けて日常の器を中心に作り続けました。味わい深い絵付けや色合い、そして美しい造形が多くの人々から愛され、今に至っています。この展覧会では、齋藤三郎の作品を時代を追って紹介し、その芸術世界に迫ります。	「院展」の名で広く知られる美術家団体・日本美術院は、1898年(明治31)に岡倉天心を中心に創設されました。院展初期に活躍した横山大観や下村観山から小林古径や安田靫彦、前田青邨、速水御舟らに代表される院展第二世代へと受け継がれていきます。古径にとって院展で発表された作品は古径芸術の力量を問うものであり、古径芸術を語る上では非常に重要な位置を占める作品群といえます。 本展覧会では、古径生誕140年を記念して、《芥子》や《竹取物語》などの院展出品作を中心として初期から晩年までの作品を展示し、古径の画業を回顧します。	当館には、約1,300点におよぶ小林古径の素描作品を所蔵しています。これらの素描群は、古径の作品制作過程を知る上で非常に貴重な資料です。描かれた題材も、古典絵画や師である半古作品の模写、草花の写生に至るまで多種多様です。 本展では、所蔵作品のなかから古径芸術の源泉といえる素描作品に注目し、テーマに沿って作品を紹介することで、本画とは異なる素描の魅力に迫ります。	令和4年1月に73歳で亡くなった上越市出身日本画家・柴田長俊の作品を紹介いたします。 柴田氏は創画会を中心に活動し、生涯を通じて「祈りの風景」を描いてきました。当館では、故郷を描いた連作《久比岐野十二景》やステンドグラス作品などあわせて34点の柴田作品を収蔵しています。また、このほかにも上越妙高駅や上越市観光物産センターのステンドグラスなど上越市内には多く作品が設置されています。 本展では、当館コレクションから初期から晩年までの日本画及びステンドグラスを展示し、柴田長俊の作品を回顧しま
主な展示作品	展示構成(予定) 第1章:新収蔵「古径とゆかりの作家たち」 第2章:あつめてのこす、ひろくつたえる 主な作品 ・小林古径《梅にうぐいす》 ・安田靫彦《紅花青花》 ・齋藤三郎《色絵辰砂椿文大壺》 ・岩野勇三《なかま》 ・ユトリロ《クレミュー教会》	展示構成(予定) 第1章:修業時代 第2章:高田に窯を築く 第3章:泥裏珠光 第4章:継承と展開 主な作品 《染付竹林菓子器》、《色絵黄蜀葵文皿》、《泥裏珠光揮毫皿》	展示構成(予定) 第1章:明治期の胎動 第2章:大正・昭和初期の飛躍 第3章:戦火を越えて―円熟の古径芸術 主な作品 《加賀鳶》《極楽井》《唐蜀葵》東京国立近代美術館蔵 《芥子》《麦図》東京国立博物館蔵 《竹取物語》京都国立近代美術館蔵 《祿》《壺》茨城県近代美術館蔵	展示構成(予定) 第1章:古画の模写 第2章:物語絵 第3章:草花の写生 主な作品 ※全て小林古径作、当館蔵 《信貴山縁起絵巻(加持祈祷巻)》《読売新聞「紺暖簾」挿絵》 《法隆寺・東寺宝物の紋様》《投壺と投壺矢》 《牡丹》(絶筆)《秋海棠》《赤まんま》	展示構成(予定) 第1章:祈り・聖地巡礼 第2章:故郷の風景 第3章:光のデザイン～ステンドグラス作品 主な作品 《日の出・漁夫》(初入選作品) 《群衆》《迎火》《天境》《巡礼の道～晩禱》 《久比岐野十二景》 《遊動》《森の贈り物》(ステンドグラス)
展示点数	45点	約50点	約30点	約60点	約25点
会期中のイベント	(1) 古径生誕140年記念茶会 日 時:4月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日) 10:00～15:00 会 場:古径邸本邸 対 象:どなたでも 内 容:ボランティアによる茶席を行います。 (2) 作品トーク&鑑賞会 日 時:4月15日(土)、5月13日(土)、 6月18日(日)14:00～15:00 会 場:展示室 対 象:どなたでも 内 容:作品収集の経緯等について語ります。 (3) 古径邸・庭園見どころガイドツアー 日 時:5月4日(水・祝)14:00～15:00 会 場:小林古径邸本邸、画室 対 象:どなたでも 内 容:庭園と古径邸をめぐるガイドツアーです。 (4) 国際博物館の日 無料入館 日 時:5月21日(日) 終日 (5) ワークショップ「くらべてみよう日本画と油絵」 日 時:5月27日(土)、6月3日(土)13:30～15:30 会 場:二ノ丸ホール 対 象:どなたでも(申込不要)、各日10人程度 参加費:500円 内 容:油絵の具を塗り、その質感を楽しみます。	(1) リレートーク「齋藤三郎、人と芸術」 日 時:調整中 講 師:調整中 (2) タッチ&トーク 日 時:7月29日(土)、8月20日(日)、9月16日(土) 14:00～14:30 内 容:作品を鑑賞したあと陶芸作品に実際に触れて作品の魅力を感じます。 (3) 高校生向け連続講座「アートって何？」 日 時:7月29日(土)、8月27日(日)10:00～15:00 講 師:伊藤将和(上越教育大学准教授) 家崎萌(金沢学院大学教育学部講師) 定 員:高校生10名 内 容:作家や学芸員など、アートに関わる人たちと交流し対話やワークショップを通してアートについて考えます。 (4) 「美術館で夏やすみ！」 日 時:8月5日(土)10:00～16:00 参加費:材料費(要入館料) ①親子deなぞ解き「三郎さんの模様をさがせ！」 1回目11:00～/2回目14:00～ 小学生対象先着20名、参加費無料 ②ミニワークショップ「小さな植木鉢作り」 (材料費300円、先着50人) ③「風鈴街道in美術館」 風鈴に絵付けて美術館雁木に飾ります。 (材料費300円、先着50人) ④ミニ縁日(協力:ミュージアムファンクラブ)	(1) 記念講演会 日 時:11月3日(金・祝) 14:00～15:00 会 場:二ノ丸ホール 講 師:未定 (2) 日本画講座 日 時:11月11日(土)・12日(日) 9:00～16:00 会 場:古径邸画室 講 師:未定 (参加費:5,000円、5名募集) (3) 学芸員によるギャラリートーク(全3回) 日 時:10月28日(土)、11月18日(土) 14:00～15:00 会 場:展示室 (4) 秋のミュージアムコンサート 日 時:10月22日(日) 14:00～15:00 会 場:検討中 (参加費:1,000円、50人限定、茶席付き) 芝生観覧 (5) 子どものためのワークショップ「物語絵巻をつくろう！」 日 時:10月29日(日) 会 場:二ノ丸ホール (6) 庭園ライトアップ 会 期:11月10日(金)～11月19日(日) 時 間:16:30～19:00(会期中は開館時間延長)	(1) 学芸員によるギャラリートーク(全2回) 日 時:12月17日(日)、令和6年3月2日(土) 13:30～14:30 会 場:展示室 (2) 親子のための作品鑑賞会 日 時:令和6年1月27日(土) 10:00～11:00 会 場:展示室 対 象:小・中学生とその保護者10組程度 内 容:親子で一緒に展覧会の鑑賞をします。 参加費:無料(※要入館料) (3) 展覧会ミニワークショップ ①「古径作品で上げ写しを体験してみよう」 日 時:12月9日(土)、令和6年2月11日(祝・金) 内 容:出品作品を手本に上げ写しを体験します。 参加費:300円(※要入館料) ②「古径素描その後…」 日 時:令和6年1月14日(日)、2月3日(土) 内 容:古径未完成の作品に自由に描いて作品を完成させます。 参加費:100円(※要入館料) (4) キャンドルナイト 日 時:2月11日(金・祝)午後4時～7時 会 場:古径邸庭園 対 象:どなたでも(定員なし) 内 容:雪深い高田の冬と美術館に親しむイベントとして、庭園内に雪灯籠を作ります。 参加費:小林古径生誕日を記念し、終日無料開館 抹茶と和菓子セット600円で提供。(先着順)	検討中 (3月中のイベント開催はなし)
入館料	一般 510円/小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料	一般 510円/小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料 「三郎さん」割/「着物」割/「樹下美術館」との相互割引	一般 700円/小・中・高生 350円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料	一般 510円/小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料	一般 510円/小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料
目標入館者数	5,000人	5,000人	8,000人	2,000人	検討中